

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17109006	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	転写を阻害するDNA損傷の細胞応答機構とその異常疾患の分子遺伝学的解析	研究代表者 (所属・職)	田中 亀代次（大阪大学・大学院生命機能研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>転写と修復のメカニズム解明は、バイオサイエンスの領域において重要な研究テーマである。本プロジェクトは、このメカニズム解明のため、幾つかの疾患をターゲットとして研究を進めた。その中で、特に遺伝的早老症コケイン症候群の原因遺伝子の一つ、CSA の核マトリクス移行のメカニズム解明に一定の進展が認められた (Mol Cell 2007)。さらに、紫外線高感受性症候群 UV^sS の原因遺伝子 CSB を同定したことも大きな成果として挙げられる。</p>		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
